

V 環境を考える

1 環境学習・環境啓発

現在の環境問題は、生産や流通などの活動が原因とされる産業型公害に加え、地球温暖化などに見られるように市民の日常生活も原因となっています。したがって、私たち一人ひとりが環境に対する理解を深め、生活の中で取り組んでいくことが重要となります。市では、環境学習講座を修了された方々と意見交換を行いながら、環境学習講座を実施しています。

(1) 環境学習

ア 府中かんきょう塾2011

平成13年にエコ・リーダー養成講座としてスタートしました。現在では府中かんきょう塾として、講座修了生による企画・運営で進められています。平成23年度は全8回の連続講座のほか、単発の講座も3回実施しました。講座参加者数:延べ194人

全8回の連続講座(第4回講座は荒天のため中止となったため、単発の講座として再実施しました。)

回	日時 参加人数	テーマ (学習方法)	内容	講師	会場等
1	6月25日(土) 14:00~16:00 32人	開講式 世界と日本の環境について	世界と日本の環境についての講話	元JICA経済協力調整アドバイザー 表 伸一郎氏	府中市役所会議室
2	7月12日(火) 9:30~15:00 23人	バス見学会	ごみ処理施設と水再生センターの見学	多摩川衛生組合職員、東京都水道局職員	クリーンセンター多摩川、北多摩一号水再生センター
3	8月6日(土) 14:00~16:00 21人	節電のための省エネと新しいライフスタイル	省エネにつながる節電についての講話	東京電力株式会社節電アドバイザー	府中駅北第2庁舎会議室
4	9月3日(土) ※荒天のため中止	府中の湧水や用水の散策	湧水や用水を散策し、府中市の自然環境について学ぶ。	環境カウンセラー 進藤禮治郎氏	西府文化センター及びその周辺
5	10月1日(土) 13:00~16:30 20人	農工大訪問～農園見学と動物とのふれあい～	東京農工大学の農園や動物を見学し、農業や畜産について学ぶ。	東京農工大学助教 神田修平氏	東京農工大学
6	11月19日(土) 13:00~16:00 12人	浅間山散策～植物や樹木の観察～	浅間山を歩きながら豊かな自然を体感し、自然保護の現状について学ぶ。	浅間山自然保護会 会長 山田義夫氏	都立浅間山公園、生涯学習センター
7	12月10日(土) 13:00~16:30 15人	原発問題を考える	原発問題についての講話及びグループワーク	NPO法人環境文明21 共同代表 藤村コノエ氏	府中駅北第2庁舎会議室

回	日時 参加人数	テーマ (学習方法)	内容	講師	会場等
8	1月28日(土) 14:00~16:00 15人	修了式 自主グループによる 発表	自主グループ による活動成 果の発表	—	府中駅北第2庁 舎会議室

単発の講座

回	日時 参加人数	テーマ (学習方法)	内容	講師	会場等
1	8月18日(木) 13:30~16:30 19人	親子でペットボトル・紙 パック工作	リサイクルプラ ザの見学とペッ トボトル・紙パッ クを使った工作	—	府中市リサイク ルプラザ
2	2月26日(日) 11:00~13:30 23人	エコクッキング	食とエコロジー についての講義 と府中産の野 菜を使った簡 単な調理実習	府中市福祉保健 部 健康推進課職員	ルミエール府中 料理講習室
3	3月10日(土) 13:00~15:30 14人	府中の湧水や用水の 散策	湧水や用水を 散策し、府中市 の自然環境に ついて学ぶ。	環境カウンセラー 進藤禮治郎氏	西府文化センタ ー及びその周辺

(2) 環境調査・市民調査

ア 市民による酸性雨調査

平成2年度から、市民の方々の協力により、酸性雨の簡易測定を実施しています。測定結果だけでなく、独自の実験や研究結果なども寄せられています。平成18年度からエコサマースクールと題し、東京農工大学と連携して夏休みの自由研究支援を目的とした夏季講座を実施しています。酸性雨の測定を通して、大気汚染さらには地球環境問題を身近で考える場とするとともに、データを記録し、自動測定機では得られない市内全体の状況を把握しています。

日時	テーマ (学習方法)	内容	会場等
7月28日(木) 10:00~11:30	酸性雨調査説明 会	市民酸性雨調査の会による自動車の排気ガスから酸性雨をつくる実験、酸性雨自動測定機の見学のほか、器具貸出しと調査方法の説明	教育センター科学実験 室

8月24日(水) 10:00~12:00	酸性雨講座 施設見学会	東京農工大教授による講義、大気汚染の植物への影響を研究している施設、気象観測所アメダスの見学のほか、キャンパス内に残っている絶滅危惧植物や農作物への影響を観察。	東京農工大学講義室及び府中キャンパス内
8月~9月	酸性雨調査期間	雨を採取しpHと降水量を測定	参加者自宅等

調査参加者数:18人

イ 市民ボランティア調査

市民の方々の協力により環境調査を実施することで、より多くの方が環境に興味を持つきっかけづくりの場を提供し、さらにはフィールドワークを通して市民ボランティアを育成しています。また、得られたデータは、市の環境施策に活用するための基礎データとして、記録しています。この調査は、地域の環境に根ざした環境調査プログラムとして、市内で環境活動を行っている「特定非営利活動法人 府中かんきょう市民の会」に委託して実施しています。

(ア) 西府町湧水調査

調査期間:平成23年4月~平成24年3月(通年)

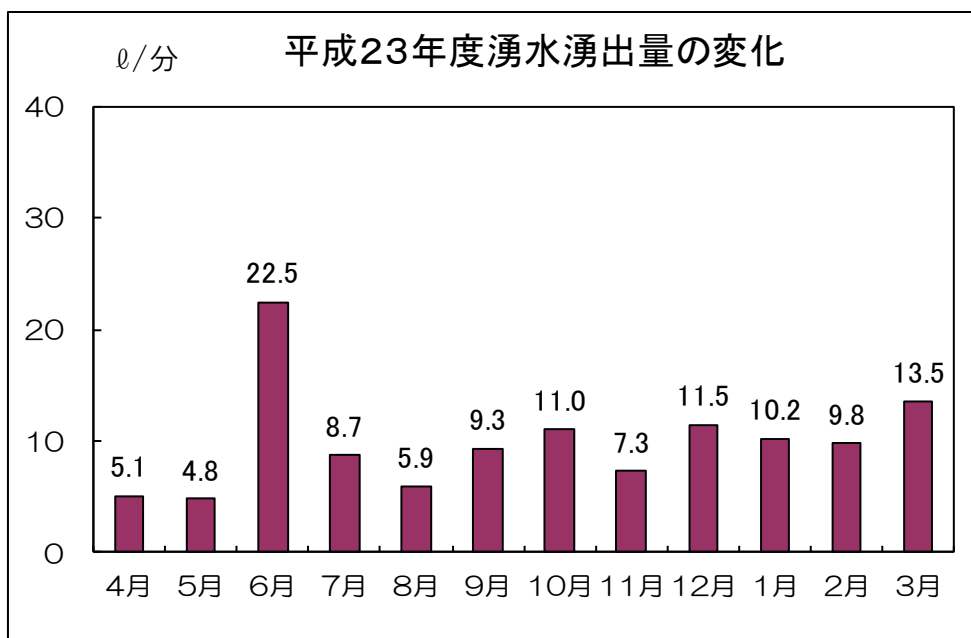
調査場所:西府町湧水

参加人数:延べ25名

調査内容:湧水量、水質の通年データ測定調査

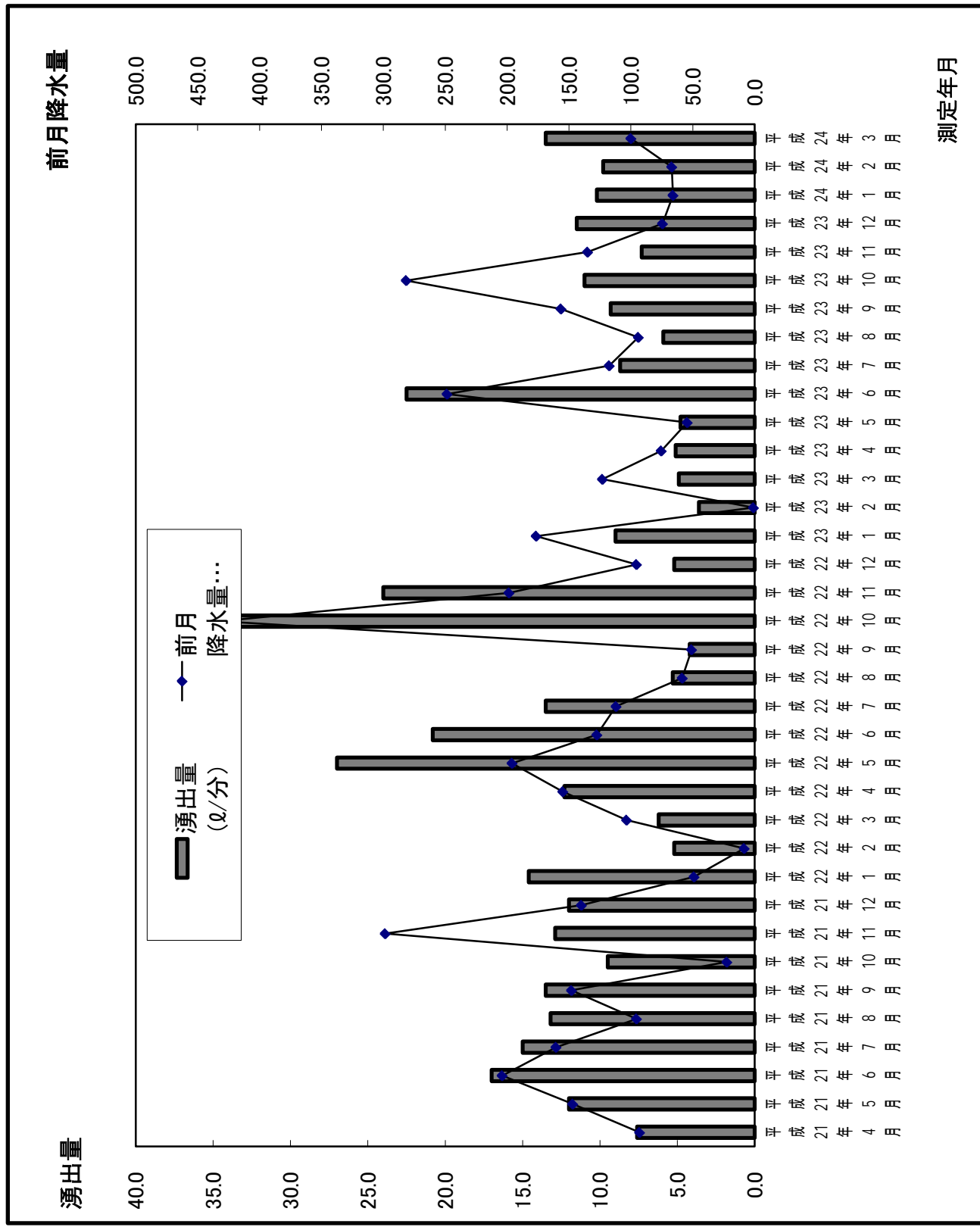
調査結果

測定日	湧出量 (ℓ/分)
4月2日	5.1
5月13日	4.8
6月1日	22.5
7月1日	8.7
8月1日	5.9
9月1日	9.3
10月1日	11.0
11月1日	7.3
12月1日	11.5
1月1日	10.2
2月1日	9.8
3月3日	13.5



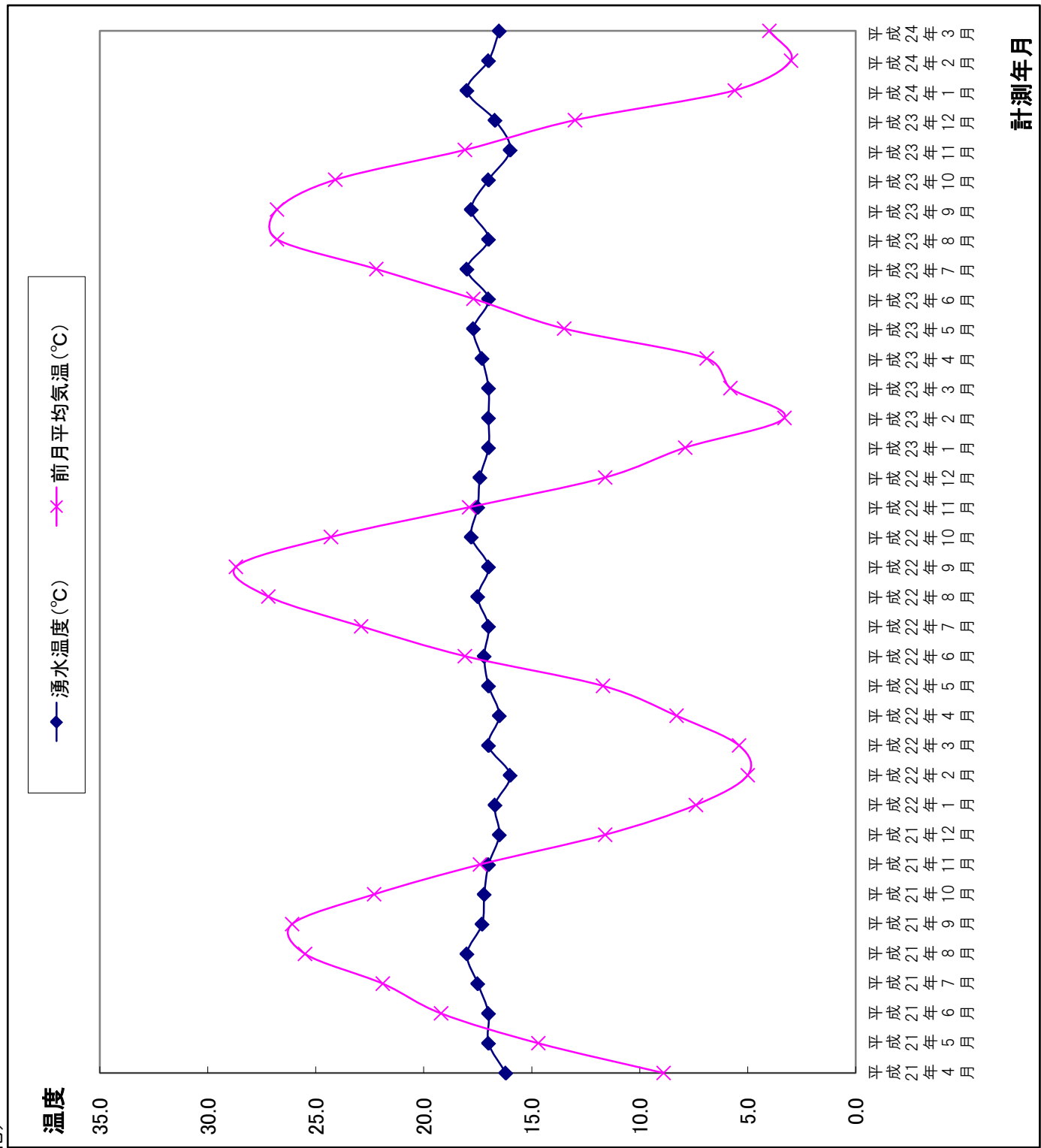
●湧水量と前月降水量（経年変化）

測定年月	湧水量 (ℓ/分)	前月 降水量 (mm)
平成21年4月	7.6	93.0
平成21年5月	12.0	147.0
平成21年6月	17.0	204.0
平成21年7月	15.0	160.5
平成21年8月	13.2	95.5
平成21年9月	13.5	148.0
平成21年10月	9.5	22.5
平成21年11月	12.9	298.5
平成21年12月	12.0	140.0
平成22年1月	14.6	49.0
平成22年2月	5.2	8.5
平成22年3月	6.2	103.5
平成22年4月	12.3	155.0
平成22年5月	27.0	196.0
平成22年6月	20.8	127.5
平成22年7月	13.5	112.0
平成22年8月	5.3	58.5
平成22年9月	4.2	51.0
平成22年10月	33.8	431.5
平成22年11月	24.0	198.5
平成22年12月	5.2	95.5
平成23年1月	9.0	176.5
平成23年2月	3.6	1.0
平成23年3月	4.9	123.0
平成23年4月	5.1	75.5
平成23年5月	4.8	54.5
平成23年6月	22.5	248.5
平成23年7月	8.7	117.5
平成23年8月	5.9	94.0
平成23年9月	9.3	156.5
平成23年10月	11.0	281.5
平成23年11月	7.3	135.0
平成23年12月	11.5	74.5
平成24年1月	10.2	66.0
平成24年2月	9.8	67.0
平成24年3月	13.5	100.0



●湧水水温と前月平均気温(経年変化)

計測年月	湧水温度 (°C)	前月平均 気温(°C)
平成21年4月	16.2	8.9
平成21年5月	17.0	14.7
平成21年6月	17.0	19.2
平成21年7月	17.5	21.9
平成21年8月	18.0	25.5
平成21年9月	17.3	26.1
平成21年10月	17.2	22.3
平成21年11月	17.0	17.4
平成21年12月	16.5	11.6
平成22年1月	16.7	7.4
平成22年2月	16.0	5.0
平成22年3月	17.0	5.4
平成22年4月	16.5	8.3
平成22年5月	17.0	11.7
平成22年6月	17.2	18.1
平成22年7月	17.0	22.9
平成22年8月	17.5	27.2
平成22年9月	17.0	28.7
平成22年10月	17.8	24.3
平成22年11月	17.5	17.9
平成22年12月	17.4	11.6
平成23年1月	17.0	7.9
平成23年2月	17.0	3.3
平成23年3月	17.0	5.8
平成23年4月	17.3	6.9
平成23年5月	17.7	13.5
平成23年6月	17.0	17.7
平成23年7月	18.0	22.2
平成23年8月	17.0	26.8
平成23年9月	17.8	26.8
平成23年10月	17.0	24.1
平成23年11月	16.0	18.1
平成23年12月	16.7	13.0
平成24年1月	18.0	5.6
平成24年2月	17.0	3.0
平成24年3月	16.5	4.0



計測年月

平成21年4月
 平成21年5月
 平成21年6月
 平成21年7月
 平成21年8月
 平成21年9月
 平成21年10月
 平成21年11月
 平成21年12月
 平成22年1月
 平成22年2月
 平成22年3月
 平成22年4月
 平成22年5月
 平成22年6月
 平成22年7月
 平成22年8月
 平成22年9月
 平成22年10月
 平成22年11月
 平成22年12月
 平成23年1月
 平成23年2月
 平成23年3月
 平成23年4月
 平成23年5月
 平成23年6月
 平成23年7月
 平成23年8月
 平成23年9月
 平成23年10月
 平成23年11月
 平成23年12月
 平成24年1月
 平成24年2月
 平成24年3月

(イ) 多摩川の野鳥観察・調査

調査結果は72ページ

調査期間:平成23年4月～平成24年3月(公開講座2月18日)

調査場所:多摩川大丸堰、いこいの森、郷土の森ほか

参加人数:延べ93名

調査内容:多摩川と郷土の森周辺の調査、野鳥観察会の開催

(ウ) 植物観察・調査(多摩川河川敷)

調査結果は73ページ～77ページ

調査期間:平成23年4月～平成24年3月(公開講座10月23日)

調査場所:多摩川河川敷(大丸堰から関戸橋まで)

参加人数:延べ84名

調査内容:多摩川河川敷に自生する植物の観察会の開催と調査

(エ) 小川の生き物調査

調査結果は78ページ

調査日時:平成23年8月7日(日)

調査場所:本宿用水路(四谷2丁目)

参加人数:25名

調査内容:小川の生き物の生息状況の観察会の開催と調査

●野鳥観察調査結果(観察野鳥リスト)

※毎月1回 午前9時～正午頃まで観察

<調査場所>郷土の森正門前～いこいの森～修景池～郷土の森公園～庭球場横～大丸堰周辺～ニセアカシア疎林～読売新聞社前

調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査日	4日	9日	7日	7日	4日	8日	11日	8日	7日	12日	9日	19日	
天候	晴	曇	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
参加者数	9人	7人	8人	6人	6人	7人	7人	11人	6人	8人	9人	7人	89人

野鳥の名前	確認数 (羽)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カイツブリ			3		2	5	5	1	1		4	1	22
カウ	1	2	7	5	7	12	141	3	320	7	1	9	515
ダイサギ	4	5	4	2	6	8	3	12	9	5	2		60
チュウサギ		3											3
コサギ			10	5	23	2		2	1		4	1	48
アオサギ			7	6	19	21	16	6	16	2			93
マガモ								6	18	24	9	2	59
カルガモ	2	11	2	17	2		10	12	20	32	19	24	151
コガモ									2				2
トビ	1		1	4	1		1	2		1	1	2	14
チョウゲンボウ												1	1
キジ	2	4	2										8
バン												1	1
オオバン										1			1
コチドリ	1	1											2
イカルチドリ	2	1	1	2	2	2	3			2			15
イソシギ			1	5	2	2	1	2			1		14
セグロカモメ												1	1
ユリカモメ								1					1
コアシサシ		2											2
キジバト	2	2	2			1		1	2	5	1		16
アマツバメ						1							1
カワセミ	2	2		1		4	3	1			2	2	17
コゲラ		1							1	1			3
ヒバリ	3	2	4	2			1					1	13
ツバメ		4	7	9	4	3							27
コシアカツバメ						1							1
イワツバメ				1									1
キセキレイ								1	2	1			4
ハクセキレイ	3	4	2	2	4	3	8	14	14	9	8	15	86
セグロセキレイ	2	2	5	5	2	2	3	8	12	7	5	7	60
タヒバリ	2							3	6	5	2	6	24
ヒヨドリ	5	1	2	2	4		43	5	16	7	9	1	95
モズ	2		2				4	4		1			13
シロハラ	1												1
ツグミ	11										4	7	22
ウグイス	1	2	1	1	2				1				8
オオヨシキリ		1	4	1									6
セッカ	2	12	12	11	9	2						1	49
エナガ	2										1		3
シジュウカラ	7	2	5	2	1	1	2	2	3	1	6	1	33
メジロ	2	1	2		1			1	5	2	4		18
ホオジロ	2		8	2	2			1	2	16	10	8	51
カシラダカ									2	4	5		11
アオジ									1				1
カワラヒワ	83	2	5	2	2		2	27	22	11	8	7	171
マヒワ	28												28
スズメ	34	8	7	6	9	22	3	30	14	14	36	32	215
ムクドリ	6	15		85	3	26				2	48	15	200
オナガ			1										1
ハシボソガラス	5	3	27	2	4	4	1	2	2	5	5	3	63
ハシブトガラス	4	5	2	5	3	6	4	4	4	4	4	6	51
確認総羽数	222	98	136	185	114	128	254	151	496	169	199	154	2,306
確認種類数	29	26	28	25	23	20	19	25	25	25	25	24	294
ドバト	29	7	8		3	15	15	15	25	14	16	14	161
アイガモ	4	2											6
ガビチョウ				3	2				1				6
確認総羽数	33	9	8	3	5	15	15	15	26	14	16	14	173
確認種類数	2	2	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	3

●多摩川植物調査結果(植物開花調査リスト)

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
トクサ科	イヌドクサ				*									花ではなく孢子茎
	スギナ													
クルミ科	オニグルミ	b	*	*	*	*	*	*	*					
	ヒメグルミ			*	*	*	*	*	*					
ヤナギ科	コゴメヤナギ	○												都・絶滅危惧Ⅱ類
	タチヤナギ	○												
	コゴメヤナギ	○												
ニレ科	アキニレ						○	*	*	*	*	*	*	
	エノキ								*	*	*	*	*	
	ムクノキ							*	*	*	*	*	*	
クワ科	カナムグラ						b	○	*	*	*	*	*	
	ヤマグワ		*	*										
ビャクダン科	カナビキソウ		○											
タデ科	ナガバギシギシ☆	b	○	*	○	*				*	*	*		
	スイバ	○	○											
	ヒメスイバ☆		○											
	オオイヌタデ					*		○						
	アレチギシギシ☆	○	○											
	イタドリ						○	○	*	*	*	*		
	ミゾソバ							○	○					
	イヌタデ					*		○	○					
	ヤナギタデ								*					
	ギシギシ			*	*	*	*		*					
	ミチヤナギ☆						*							
	イシミカワ							*						
スベリヒユ科	スベリヒユ						*							
ナデシコ科	カワラナデシコ	*				○	*	*	*	*	*	*	*	都・絶滅危惧Ⅱ類
	オランダミミナグサ☆	○	○											
	ノミノツヅリ	○	○	○										
	ウシハコベ		○					○	○	○	*			
	コハコベ	○												
	ショカツサイ☆													
	ムシトリナデシコ☆													
	ミミナグサ	○	○	○										
	ノハラナデシコ☆			○										
アカザ科	シロザ						○	○	*					
	ケアリタソウ☆				b	b		○	*	*		*		
	コアカザ☆													
ヒユ科	ヒナタイノコズチ						○		*	*	*	*	*	
	ホソアオゲイトウ☆							*			*			
キンボウゲ科	ケキツネノボタン		○	○										
	セリバヒエンソウ☆													
	タガラシ	○												
	センニンソウ					b	○	*			*	*	*	
オトギリソウ科	コゴメバオトギリ☆		b	○	○	○								
ケシ科	ナガミヒナゲシ☆		○											
アブラナ科	ミチタネツケバナ☆												○	
	カキネガラシ☆		○	○										
	ナズナ	○									○	○	○	
	セイヨウアブラナ☆	○	○										b	
	セイヨウカラシナ☆	○	○	*										
	オランダガラシ☆	○	○											
	スカシタゴボウ	○	○	○	○				○					
	マメゲンバイナズナ☆		○	○	○	*	*	*	○	○				
	ハタザオ		○	○										都・準絶滅危惧
	イヌガラシ		○							○				
	カキナ	○												
	タネツケバナ	○									○	○	○	
ベンケイソウ科	ツルマンネングサ☆		○	○										
	コモチマンネングサ													
	メキシコマンネングサ☆													
ユキノシタ科	タコノアシ													都・準絶滅危惧
	ウツギ													
バラ科	ヘビイチゴ			*									○	
	ノイバラ		○		*	*		*	*	*	*	*	*	
	ナワシロイチゴ		○	○										
	テリハノイバラ		○	○	○	○	*	○	○	○	*	*		
	カワラサイコ		○	○	○	○								都・絶滅危惧Ⅱ類
	ワレモコウ				○	○	○	○	*	*	*			

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
バラ科	タチバナモドキ☆			○										
	ユキヤナギ													
	キンミズヒキ					○	○							
	ヤマザクラ	○												
	オオシマザクラ	○	*	*										
マメ科	カラスノエンドウ	○	○	○										
	スズメノエンドウ	○	○											
	シロツメクサ☆		○	○	○	○		*	○					
	コメツブツメクサ☆	○	○	○										
	ムラサキツメクサ☆		○	○	○	○	○	○	○					
	コマツナギ			○	○	○	○							
	クララ			○	*	*	*	*	*					
	クズ						○	*	*	*				
	メドハギ					○	○	○	*	*	*	*	*	
	アレチヌスビトハギ☆							○	*	*	*			
	ヤハズソウ							○	*	*	*			
	クスダマツメクサ☆		○	○										
	ハリエンジュ☆	*	○	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	カスマグサ	○	○	*										
	ナヨクサフジ☆													
	レンリソウ		○	*	*									都・絶滅危惧 I B類
	ツルマメ							○			*	*	*	
ヤブマメ								○	*					
マルバヤハズソウ														
カタバミ科	カタバミ	○				○	○		○					
	オッタチカタバミ☆	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	ムラサキカタバミ☆													
フウロソウ科	アメリカフウロ☆		○	○										
トウダイグサ科	オオニシキソウ☆					○	○	○						
	エノキグサ						○	○	○					
	アカメガシワ			○	○	○								
	コニシキソウ☆						○	○						
ニガキ科	ニワウルシ☆				*	*	*							
センダン科	センダン											*		
ウルシ科	ヌルデ				b	b	○	*	*	*	*	*		
ニシキキ科	マユミ													
ブドウ科	ヤブガラシ			○	○	○	○	○						
スマレ科	タチツボスマレ													
ウリ科	アレチウリ☆						○	○	○		*			
アカバナ科	ユウゲショウ☆		○	○	○	○	○	○	○					
	コマツヨイグサ☆	b	○	○	○	○	○	○	○					
	オオマトヨイグサ☆													
	メマトヨイグサ☆	*			○	○	○	○	○	*	*	*	*	
セリ科	ヤブジラミ			○	○	*								
	オヤブジラミ		○											
	ハナウド													
モクセイ科	イボタノキ		b	○						*	*	*	*	
	トウネズミモチ													
ガガイモ科	ガガイモ				○	○				*	*	*		
アカネ科	ヤエムグラ		*	○										
	ヘクソカズラ				○	○	*	*	*	*	*	*	*	
	オオフタバムグラ													
	ハナヤエムグラ☆		○											
	メリケンムグラ☆					○								
ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ☆				○	○	○	○	○				*	
	コヒルガオ													
	マルバアメリカアサガオ☆													
	ヒルガオ			○		○								
ムラサキ科	キュウリグサ	○												
クマツヅラ科	アレチハナガサ☆		○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	*	
	ハマクマツヅラ☆													
	ヤナギハナガサ☆				○									
	ダキバアレチハナガサ☆													
シソ科	イヌコウジュ								○	*				
	ヤマタツナミソウ													
	カキドオシ	○												
	ヒメオドリコソウ☆	○											○	
	ホトケノザ	○									b	○	○	
	ミゾコウジュ													国・準絶滅危惧
	ニガクサ				b	○		*						

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
シソ科	ヒメジソ													
	メハジキ													
ナス科	アメリカイヌホオズキ☆								○	*				
	イヌホオズキ													
	クコ						○	○	*	*	*	*		
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ☆	○	○	○							○	○	○	
	タチイヌノフグリ☆	○	○	○										
	オオカワヂシャ☆	○	○	○	○								○	
ゴマノハグサ科	カワヂシャ		○	○	○	○								
	ピロードモウズイカ☆			○	○	○	*							
	トキワハゼ													
	ムシクサ													
マツバウンラン	○													
キツネノマゴ科	キツネノマゴ					○	○	○	○					
ハマウツボ科	ヤセウツボ☆													
オオバコ科	ヘラオオバコ☆	○	○	○	○	○	○	○	○					
	オオバコ		○	○	*	○		○	*	*	*	*		
	ツボミオオバコ☆		○	*										
オミナエシ科	ノヂシャ☆		○											
キキョウ科	ヒナギキョウ													
	キキョウソウ☆			○										
キク科	ハルジオン☆		○											
	オミノゲシ		○	○										
	ヤブタビラコ													
	セイヨウタンポポ☆	○	○						*					
	ノゲシ	○	○	○		○								
	オニタビラコ													
	コセンダングサ☆	b	○	○	○	○	○	○	○	○	*	*	*	
	キツネアザミ		○											
	コウゾリナ		○	○	○						○			
	ウラボシチチコグサ☆													
	ハハコグサ													
	ニガナ		○	○										
	ヒメジョオン☆			○	○	○	○	○	○					
	ハルシヤギク☆			○	○	○	○	○	○					
	オオキンケイギク☆		b			○								
	オオアレチノギク☆				○	○	○	○			○			
	ヒメムカシヨモギ☆					○	○	○	○					
	イヌキクイモ☆						b	○	○	*	*	*	*	*
	アキノノゲシ								○	○				
	ヘラバヒメジョオン☆									○	○			
	ホウキギク☆										*	*		
	ヒロハホウキギク☆								○			*		
	オオブタクサ☆							○	○	○	○	*	*	*
	セイタカアワダチソウ☆								○	○	○	○	*	*
	アイノコセンダングサ☆							○	○	○				
	ヨモギ							○	○	○	*	*	*	*
	ノコンギク								○					
	ハキダメギク☆								○	○				
	タンポポ(カントウ×セイヨウ)☆													
	エゾタンポポ	○												
	タチチチコグサ☆													
	ノボロギク☆											○	○	○
	チチコグサモドキ☆													
	オオジシバリ													
	アメリカセンダングサ☆								○		○	*		
	アメリカタカサブロウ☆						○	○	○					
	ブタナ☆		○	○			○	○	○					
	ヤナギバヒメジョオン☆													
	オオオナモミ☆												*	
	カモミール☆		○	○										
トチカガミ科	オオカナダモ☆													
ユリ科	ノビル		b	○										
	ノカンゾウ				○									
	ヤマラッキョウ													
	ニラ						○							
	ヤブカンゾウ				○									
	ツルボ					b	○	*	*	*	*	*	*	
	タカサゴユリ☆					b		*						
ヒガンバナ科	ヒガンバナ						○	○						

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
アヤメ科	ニワゼキショウ☆		○	○										
	キショウブ☆													
イゲサ科	スズメノヤリ	○	*											
	クサイ			○										
	コゴメイ☆			○	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
ツユクサ科	ツユクサ		○		○	○	○	○	*					
イネ科	オオスズメノカタビラ☆		○	*										
	カラスノチャヒキ☆													
	スズメノチャヒキ☆		*	*										
	カラスムギ☆		○	*	*									
	イヌムギ☆		○	*	*	*								
イネ科	ハルガヤ☆		○											
	オニウシノケグサ☆	b	○	*	○	○					*			
	スズメノカタビラ	○	○	○							○	○	○	
	クサヨシ		○	○										
	ネズミホソムギ☆		○	○	*	○								
	シナダレスズメガヤ☆	*	○	○	*	○	○	○	○	○	*	*	*	
	ムクゲノチャヒキ☆	○	*	*	*									
	アオカモジグサ		○	*	*	*								
	ネズミムギ☆													
	ノシバ			○				○				*	*	
	コバンソウ													
	カモジグサ		○	○				*			*	*		
	セイバンモロコシ☆			○	○	○	○	○	○	○	*	*		
	チガヤ													
	シマスズメノヒエ☆				○	○	○	○	○	*				
	ヤマアワ													
	ノギナシセイバンモロコシ☆						○	○	○					
	アキノエノコログサ						○	*	*	*				
	カタバエノコ							*	*	*				
	キシウスズメノヒエ☆				○			○						
	オヒシバ						○	○	*	*	*			
	メヒシバ						○	○	*	○	*	*		
	イヌビエ						*	*	*	*	*	*		
	エノコログサ					*		○	*	*	*	*	*	
	ツルヨシ					b	○	○	○	*	*	*	*	*
	トダシバ							○	○	*	*	*	*	*
	キンエノコ							○	*	*	*			
	カゼクサ							○	*	*	*	*		
	ムラサキネズミノオ					*		○	*					
	アキメヒシバ								*					
	チカラシバ							○	*	*	*	*	*	
	メリケンカルカヤ☆													
	オガルカヤ							○	○	*	*	*	*	*
	ススキ								○	○	*	*	*	*
	コメヒシバ													
	ヨシ							b	○	*	*		*	*
	オギ								○	*	*	*	*	*
	カモガヤ			○										
	アンデスカゼクサ☆													
	ミヅイチゴツナギ		*											
	ウシノシッパイ													
	ジュズダマ													
	コスズメガヤ☆						*	○						
ヒメイヌビエ														
オオエノコログサ														
ネズミノオ						○	○	*	*	*	*			
イチゴツナギ		*												
ヒゲナガスズメノチャヒキ☆		○												
ヒエガエリ														
メガルカヤ	*						○	○	*	*	*	*	*	
ヤクナガイヌムギ☆														
フシゲチガヤ		○	*	*				*						
ナギナタガヤ☆				○										
スズメノヒエ														
タイヌビエ														
オオクサキビ☆														
ホソムギ☆		○			○									
ケイヌビエ					*	*	*	*	*		*			
チヨウセンカリヤス							○	*						

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
イネ科	キツネガヤ													
	スズメヒエ													
	ヒメコバンソウ		○											
	ミノボロ													都・準絶滅危惧
	コツブキンエノコロ						*							
カヤツリグサ科	アオスゲ													
	マスクサ		○	*										
	ハマスゲ						*							
	ミコシガヤ													
	刈ケンガヤツリ☆		○	○	○	○	*	*	*	*	*			
カヤツリグサ科	アゼナルコ		○											
	ヒメクゲ													
	アゼガヤツリ													
	カヤツリグサ					○	*	*						
	コゴメガヤツリ					○	*	*						
	ジュズスゲ													
	ヤワラスゲ		○											
	アオスゲ			○										
	アオガヤツリ		○					*						
ラン科	ネジバナ			○										
確認した開花植物数		40	77	66	39	54	63	57	39	14	7	6	9	

(注) 本リストは月ごとの調査結果(蕾・花・果実)より開花状況にある植物を主体に、一覽にまとめた。
 蕾・花・果実がある植物のみを調査の対象にしたので、当該河川敷に自生する全植物を把握したわけではない。
 今回確認できた種は次のとおりである。
 花を確認できたもの……………203種
 果実・蕾のみ確認できたもの… 26種
 合計 229種

種名のあとの☆は外来植物を示す。
 科名の配列順序は『新高等植物分類表』(伊藤洋著 平成元年)による。
 表中の○印は開花が確認されたものを示す。(＊印は果実のみ、b印は蕾のみ)
 20年度以降に開花結実をみたが、22年度の調査で確認できなかったものは、種名のみ記載した。
 今回の調査ではタコノアシ、カワヂシャ、ミソコウジュなどの希少種を確認できなかった。
 備考欄の希少植種の記載は「東京都レッドリスト～2010版」の北多摩地域より引用した。

小川の生き物調査<調査結果>

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
実施年月日		14年度 9月15日	15年度 9月14日	16年度 9月12日	17年度 9月11日	18年度 8月13日	19年度 9月16日	20年度 8月3日	21年度 8月1日	22年度 8月1日	23年度 8月7日
参加者数	大人		9人	30人	26人	10人	26人	12人	36人	23人	5人
	子供		9人	20人	20人	8人	14人	9人	15人	13人	7人
	合計	10人	18人	50人	46人	18人	40人	21人	51人	36人	12人
調査場所		上流と下流	上流と下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流
魚類捕獲数	カワムツ	7								1	
	オイカワ	54	12	315	126	34	164	33	19	21	16
	アブラハヤ	2	3					45	20	42	
	タモロコ	11	10	37	21	7	86	2	8	7	33
	モツゴ(クチボソ)	2	3	8	8	17	12	1	11	4	7
	コイ			2		3	17	9	5	7	17
	ギンブナ		1	1		1	3	2	6	5	2
	ドジョウ		2	13	5	2	3	2	1	2	17
	シマドジョウ								1	1	1
	ナマズ				1		1				
	トウヨシノボリ	13	18	11	10	3		3			1
	ヌカエビ	1									
	ムギツク				4	2		5	1		
	カマツカ				2	2	14	7			
	ジュズカケハゼ					1				1	
	メダカ								1	1	2
ニゴイ							1	1			
合計		90	49	387	177	72	300	110	74	92	96
その他の生き物	アメリカザリガニ	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数	28
	アマガエル					○		○		5	
	オタマジャクシ							4		ダルマガエル6	ダルマガエル2
	タニシ							多数		10(シジミ1)	
	ハイイロゲンゴロウ							1			
	エビの仲間									12	ヌカエビ18
	トンボの仲間						○		○	○	
ヒガンバナの開花	咲き始め	咲き始め	満開	咲き始め	—	咲き始め	—	—	—	—	

第4回から用水の取水方式がポンプ式となり、捕獲した魚が小型になるとともに数も減っている。

第5回は実施時期がお盆と重なったため、参加希望者が減っている。

第6回は用水の水が止まり、ほとんど水たまり状態になったため、魚が深みに集まりやすく捕獲数が増えた。

第6回のトンボの仲間の種類：アキアカネ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、ハグロトンボ、ナツアカネ
ミヤマアカネ、マヨタテアカネ、ノシメトンボ

第7回の魚は、時機が早かったためか、ほとんどの魚が小型だった。

第8回のトンボの仲間の種類：ミヤマアカネ、マヨタテアカネ、ハグロトンボ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ

(オ) 大気汚染(NO2)の調査

調査期間:平成23年4月～平成24年3月

NO₂調査(カプセル方式):6月、9月、12月、3月

NO₂調査(簡易測定キット):3月1日～2日

参加人数:延べ75名

調査内容:

NO₂:簡易測定キット(空気のごれはかるくん)で、参加者ごとに住宅等の周辺で濃度を測定(市内23か所)、カプセル方式で交差点付近の濃度を測定(市内17か所)

『天谷式カプセル』によるNO₂測定結果経年表(測定者:府中かんきょう市民の会)

カプセルNo.	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
1	西原町1-17 西原町1丁目交差点	6	18	53	62	62	37
		9	25	53	84	48	33
		12	21	53	29	79	44
		3	20	22	21	34	33
2	栄町3-8 府中刑務所角	6	9	40	24	18	22
		9	26	34	61	-	14
		12	16	40	10	35	-
		3	9	26	22	31	21
3	新町2-77 自治会館小金井街道沿い	6	9	49	49	-	-
		9	39	26	43	-	-
		12	21	31	19	-	-
		3	14	29	17	-	-
4	浅間町1-7 生涯学習センター角	6	4	35	23	-	-
		9	29	33	30	-	-
		12	49	4	2	-	-
		3	13	7	12	-	-
5	日新町2-23 府中西高校入口交差点	6	13	62	-	35	-
		9	44	40	55	26	23
		12	42	35	32	57	17
		3	14	44	30	29	42
6	本宿町2-24 本宿交番前	6	35	75	54	70	38
		9	68	43	60	31	33
		12	36	53	36	63	40
		3	20	44	33	83	44
7	本町1-13 イトーヨーカドー駐車場角	6	22	53	43	-	-
		9	44	-	66	-	-
		12	26	35	35	-	-
		3	15	43	36	-	-
8	清水が丘1-4 東府中交番前	6	13	62	51	31	31
		9	13	43	79	26	17
		12	25	44	34	36	39
		3	17	40	49	10	39
9	白糸台2-1 白糸台郵便局前	6	4	35	-	31	-
		9	40	29	40	31	-
		12	25	31	26	54	33
		3	16	37	15	83	21

カプセル No.	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
10	押立町1-37 車返団地角	6	13	53	37	31	34
		9	39	37	79	48	24
		12	21	35	21	39	33
		3	9	43	21	13	36
11	寿町3-1 寿町3丁目交差点	6	9	84	55	44	51
		9	68	57	69	53	26
		12	32	49	30	56	44
		3	16	-	21	50	39
12	前原町5-8 東八・小金井街道 前原交番前	6	-	-	-	40	40
		9	-	-	-	35	15
		12	-	-	-	36	39
		3	-	-	-	13	26
13	浅間町2-12 新小金井街道・学園通り 浅間町2丁目交差点	6	-	-	-	40	33
		9	-	-	-	53	12
		12	-	-	-	23	36
		3	-	-	-	83	-
14	若松町4-8 新小金井街道 明大グランド西	6	-	-	-	18	22
		9	-	-	-	18	10
		12	-	-	-	30	43
		3	-	-	-	61	27
15	若松町2-12 新小金井街道・20号線 浅間町2丁目交差点	6	-	-	-	35	-
		9	-	-	-	26	18
		12	-	-	-	46	35
		3	-	-	-	22	35
16	緑町1-1 小金井街道・20号線 小金井街道入口	6	-	-	-	31	-
		9	-	-	-	35	21
		12	-	-	-	64	31
		3	-	-	-	70	39
17	幸町1-35 国分寺街道・一本木通り 幸町1丁目交差点	6	-	-	-	18	22
		9	-	-	-	9	-
		12	-	-	-	40	24
		3	-	-	-	24	16
18	栄町1-4 東八・国分寺街道	6	-	-	-	22	31
		9	-	-	-	31	21
		12	-	-	-	48	31
		3	-	-	-	74	21
19	是政5-19 府中街道・多摩川通り 是政橋	6	-	-	-	26	-
		9	-	-	-	35	21
		12	-	-	-	48	26
		3	-	-	-	89	18
20	住吉町4-8 鎌倉街道・四谷通り 中河原駅前	6	-	-	-	53	29
		9	-	-	-	40	18
		12	-	-	-	65	30
		3	-	-	-	25	39

『空気のごれはかるくん』による調査結果(測定者:公募市民)

調査地点名(地点住所)		測定値(ppm)	
		3月1日	3月2日
1	押立町1丁目・府中第六中学校	0.03	0.02
2	押立町2丁目	0.02	0.03
3	小柳小学校	0.02	0.02
4	押立町4丁目・中央自動車道高架下	0.03	0.04
5	北山町	0.03	0.02
6	是政・しみず下通り	0.04	0.02
7	是政4丁目	0.04	0.02
8	清水が丘1丁目	0.02	0.02
9	清水が丘2丁目	0.02	0.02
10	白糸台6丁目・旧甲州街道	0.03	0.04
11	白糸台6丁目・南白糸台小学校	0.03	0.03
12	新町1丁目	0.02	0.03
13	浅間町4丁目・浅間町郵便局前	0.04	0.04
14	浅間町2丁目・小金井街道交差点	0.04	0.03
15	東芝町1丁目	0.06	0.04
16	晴見町4丁目・関東医療少年院交差点	0.02	0.03
17	本町2丁目	0.02	0.02
18	武蔵台1丁目	0.02	0.03
19	紅葉丘3丁目	0.02	0.04
20	紅葉丘3丁目	0.02	0.02
21	四谷1丁目	0.03	0.02
22	若松町4丁目・新小金井街道交差点	0.03	0.04
23	若松研修所	0.03	0.03

(3) 環境啓発事業

● 第6回府中環境フェスタ

6月5日は「環境の日」です。「環境の日」は、環境の保全についての関心と理解を深め、環境に関する活動を行う意欲を高めることを目的に、環境基本法に定められています。府中市では、「環境の日」にあわせて、平成18年度から「環境フェスタ」を実施しており、平成19年度、20年度は府中環境フェスタ実行委員会、平成21年度からは府中環境プロジェクト実行委員会の主催で開催しました。なお、平成19年度からリサイクルフェスタ実行委員会と連携し、「リサイクルフェスタ&環境フェスタ」として共同開催しています。

第6回となる「府中環境フェスタ」では、市民団体、事業者、学校等によるパネル展示や体験型ブースを通して、環境に優しい取組みや製品について紹介したほか、自転車発電機コーナーや緑のカーテンコーナー等の節電に関する催しを実施し、夏の電力不足解消に向けて、省エネ活動を推進していただくよう啓発を行いました。また、自然体験コーナーでは、楽しみながら環境について学べるよう、鳥の巣箱や木の実細工作り等を実施しました。

回	年度	日 時 参加人数	会場	内 容	来場者数 出展団体数
1	H18	6月3日(土) 10:00~18:00	フォーリス前 グリーンプラ ザ分館	「地球にひとしづく わたしにできること」 ブース出展、風呂敷包み講座、キャンドル ナイト等	延べ850人 12団体
2	H19	6月2日(土) 10:00~15:00	府中公園	「地球にひとしづく わたしにできること」 ブース出展、学校展示、環境推進協議会P R等	延べ10,000人 20団体
3	H20	6月7日(土) 10:00~15:00	府中公園	「地球をまもろう！わたしにできること」 ブース出展、学校展示、環境推進協議会P R等	延べ10,000人 18団体
4	H21	6月7日(日) 10:00~15:00	府中公園	「チェンジ！マイライフ ハロー！エコライフ」 ブース出展、スタンプラリー、エコチャレ ンジ、塗り絵等	延べ8,000人 15団体
5	H22	6月5日(土) 10:00~15:00	府中公園	「みんなでつなごう いきもののわ」 ブース出展、スーパーボールすくい、バル ーンアート、塗り絵等	延べ10,000人 18団体
6	H23	6月4日(土) 10:00~15:00	府中公園	「府中発 STOP！！地球温暖化」 ブース出展、節電対策紹介、自転車発電 機体験、自然体験コーナー等	延べ12,000人 17団体

● あきかん～第3回府中エコ博～

6月の環境月間に実施している環境フェスタのほかに、平成21年度から秋の環境イベントは「あきかん～府中エコ博～」を実施しています。

第3回となる「あきかん～府中エコ博～」では、平成23年が、国連が定めた国際森林年であることから、「CO₂CO₂ (コソコソ)減らそう二酸化炭素～国際森林年～」をキャッチフレーズに、市民団体、事業者、学校等による環境への取組みを紹介する「エコ自慢」展示のほか、忌野清志郎作絵本「ブーアの森」原画展や姉妹都市である長野県佐久穂町との間で締結した「森林の里親」促進事業森林整備協定等のカーボン・オフセット事業の紹介を行いました。また、市内の環境先進企業である(株)東芝、東芝ソリューション(株)、サントリー酒類(株)、日本電気(株)や東京農工大学による環境発表会、

東京農工大学学生サークルによるエコレンジャーショー及び、東京農工大学准教授三浦豊氏による環境講演会「放射能を学ぼう」を実施しました。

回	年度	日 時 参加人数	会場	内 容	来場者数 出展団体数
1	H21	11月23日(月) 10:00~15:00	ルミエール府中	ブース出展、ハンドフルート、エコレンジャーショー、朗読劇等 環境講演会「64億歳の地球に、今、わたしができること」講師 キャスター 生島 ヒロシ氏	延べ2,092人 18団体
2	H22	11月20日(土) 10:00~15:00	府中駅北口広場(講演会場:府中駅北第2庁舎)	ブース出展、エコ自慢展示、映画上映会、バルーンアート教室 環境講演会「未来のためにできること 天気エコライフ」講師 気象キャスター 小越 久美氏	延べ3,017人 16団体
3	H23	11月3日(木) 10:00~15:00	ルミエール府中	環境発表会、エコ自慢展示、国際森林年コーナー、絵本原画展示 環境講演会「放射能を学ぼう」 講師 東京農工大学大学院准教授 三浦 豊氏	延べ2,408人 12団体

2 自然環境保全の推進

市民による自主緑化の普及啓発のため、東日本大震災の影響により、例年4月29日に開催していたグリーンフェスティバルの内容について、環境フェスタ内で、緑化活動のPR、鳥の巣箱作り講習会や草花・苗木の頒布、相談員による緑化相談など自然体験コーナーを実施しました。

また、自然への愛着を醸成するため、「水辺の楽校」や「蓮を観る会」などの身近な自然に親しむ事業を実施しました。緑化標語・ポスターづくりを通じて身のまわりの自然を市民の方々に再認識していただくとともに、これら応募作品の展示会を通じて、市民の方々へ広く自然の大切さを呼びかけました。

(1) 自然保護啓発普及事業

ア 鳥の巣箱作り講習会

自然保護に関する意識高揚のために、環境フェスタにおいて、鳥の巣箱作り講習会を行いました。

件 名	参加状況	実施日
鳥の巣箱作り講習会	参加者 23名	6月4日(土)

イ 環境週間緑化標語・ポスターコンクール

市民の緑化への意識高揚を図るため、市内小中学校児童及び生徒を中心に緑化標語・ポスターコンクールを実施しました。

○表彰式

日時:平成23年6月22日(水)午後4時~5時

会場:市役所北庁舎3階第1・2階議室

	標 語	ポスター
応募作品数	1,860点	96点
入選作品数	14点	14点

○最優秀賞

標 語:池袋 理緒さん(府中第一小4年)

「みんなでね 緑の下で しんこきゅう」

ポスター:朝倉 楓さん(南町小5年)

(2) 水辺の楽校事業

子ども達に多摩川などの水辺を活用した自然環境学習、体験活動及び自然環境の啓発活動を行うため、大丸堰周辺の多摩川河川敷において、自然体験プログラムの実施や小学校の総合的学習の時間での自然環境学習に実行委員が協力しました。

● 府中水辺の楽校イベント

	実施日	内容	参加者数
1	6月12日	指導者講習会	8人
2	6月18日	「多摩川でガサガサ魚とりと投網」	84人
3	7月23日	「多摩川サマースクール2011」	386人
4	8月8日～9日	「多摩川源流体験教室2011」	36人
5	9月17日	「多摩川でガサガサ魚とりと魚つかみ」	91人
6	11月26日	「多摩川でククイモ探しといも煮」	59人
7	2月5日	「多摩川で石ころウォッチング」	42人
8	2月19日	「府中水辺の楽校活動発表会」	104人
			計 810人

● 小学校総合学習協力イベント

	実施日	内容	参加者数
1	6月6日	矢崎小学校（多摩川探検隊①）	56人
2	6月14日	新町小学校（多摩川自然観察 植物、鳥、昆虫の観察）	61人
3	6月20日	日新小学校（大好き多摩川）	76人
4	6月24日	矢崎小学校（多摩川探検隊②）	60人
5	6月28日	日新小学校（大好き多摩）	88人
6	7月15日	四谷小学校（多摩川名人になろう）	100人
7	9月13日	四谷小学校（多摩川名人になろう）	100人
8	10月24日	明星小学校（くぬぎ体験学習）	119人
9	11月8日	日新小学校（大好き多摩川）	76人
10	11月17日	矢崎小学校（多摩川探検隊③）	54人
11	2月2日	武蔵台小学校（多摩川河川敷における冬の植物・野鳥・昆虫の観察）	62人
			計 852人

(3) 樹木保存事業

みどり豊かなまちづくりのため、一定規模以上樹木や樹林を保存樹木や保存樹林に指定し、奨励金を交付しました。また、台風などによる枝折れや倒木で事故が発生した場合に、市が所有者に代わって賠償金を支払う制度があります。

件名	内容
保存樹木	指定件数210件 本数2,115本
保存樹林地	指定件数 2件 面積829.46㎡
生け垣造成	指定件数 3件 延長28m

注)生け垣造成奨励金は、平成23年度末をもって事業を終了しました。

(4) 緑の活動推進委員運営事業

公募市民などによる緑の活動推進委員会が、自然観察会や自然保護活動を行うなど、緑化活動や自然環境の保全活動に積極的に取り組みました。

▽活動内容

- 武蔵台公園の山野草の保護及び小学校の総合的学習の時間の支援
- ホテル飼育支援
- 環境フェスタにおける自然体験コーナーの企画・運営
- 水と緑のネットワークウォーキングマップを活用したウォーキングツアーの実施
 - 6月9日(木) 「浅間山と芸術の森を巡る道」参加者43名
 - 11月29日(火)「ニケ村緑道とかぜのみち」 参加者25名
- 緑化講習会の企画・運営
 - 12月11日(日)「身近な木の実や木の葉でリースを作ろう」参加者20名
- 自然観察会及び生きもの調査の実施

(5) 花蓮保存普及事業

大賀蓮の種を発掘した大賀一郎博士の出身地として、市民に末永く親しまれるよう「蓮を観る会」等を通じて府中の花蓮をPRしています。7月上旬に郷土の森公園修景池にて第51回蓮を観る会を開催し、市内外から多くの方が花蓮を観賞しました。

開催日	会場	内容
7月1日～3日	郷土の森公園修景池	<ul style="list-style-type: none"> ○花蓮の解説(7月2日・3日) ○花蓮写真講習会の開催(7月1日) ○府中市茶道連盟によるお茶会の開催(7月2日) ○郷土の森公園修景池へののぼり旗設置による花蓮PR ○市民等が撮影した花蓮写真を応募作品の中から選定し、蓮を観る会ポスター写真に採用した。 ○参加者数…延1,400人

(6) 市民花壇運営事業

公園など公共地において、市民参加による花壇づくりを進めることにより、まちに潤いと安らぎのある生活環境を作り出すため、登録した市民団体・グループに草花の苗を提供しました。

- 市民花壇…40か所(フラワーポッド92台、421.07㎡)
- 配付回数…2回(花苗8,500株)
 - 春:4,250株(5種)
(ポーチュラカ、トレニア、サルビア、マリーゴールド、アメリカンブルー)
 - 秋:4,250株(3種)
(パンジー、ノースポール、ハボタン)

(7) 緑と花いっぱい運動推進事業

東日本大震災の影響により、例年4月29日にすずかけ公園にて行っていたグリーンフェスティバルの内容を一部見直し、6月4日に府中公園で開催された府中環境フェスタにおいて、自然体験コーナーを実施し、市民意識の高揚に努めました。また、緑の募金活動や落ち葉の銀行事業によって、市民の自主的な緑化活動を支援することによって、緑と花のあるまちづくりを推進しました。

▽府中環境フェスタ(自然体験コーナー)

日時:6月4日(土)午前10時～午後3時

会場:府中公園

内容:木の実細工作りや巣箱作り講習会、草花・苗木の頒布、緑化活動PR、緑化相談など

参加者数…1,078人

▽草花の鉢・苗木頒布

○頒布数…300鉢 草花200鉢(トレニア100、ブルーサルビア100)

苗木100鉢(ブルーベリー)

▽緑の募金

学校、自治会、企業などから緑の募金への協力がありました。緑の募金還元事業として、学校等に花の種子や球根を配付し、身近な緑化活動を推進しました。

募金額 1,045,931円

○種子…2,590袋(3種)(アサガオ、ヒマワリ、ケイトウ)

○球根…1,840袋(4種)(チューリップ、フリージア、ラナンキュラス、スイセン)

▽落ち葉の銀行事業

期 間:平成23年11月～平成24年1月(月・木)

登録団体:28団体32か所

回 収 数:1,084袋

3 府中市環境保全活動センター

(1) 設置の経緯

府中市環境保全活動センターの設置等については、平成15年に策定された府中市環境基本計画に初めて明記されたほか、平成18年3月には、府中市環境基本計画に基づき、市民や事業者及び行政が相互に意見交換し、環境基本計画の進捗状況や計画を推進するための方策について検討するため、府中市環境推進協議会が設置されました。

同協議会ではこの中で、市民や事業者及び行政が、環境基本計画及び環境行動指針を推進するとともに、各主体が環境基本計画を実践するための枠組みとして、環境活動の場を設置する必要があると、平成20年3月に市長へ「環境保全活動の支援センターのあり方について」提言しております。

また、平成23年3月に策定された府中市地球温暖化対策地域推進計画の中でも、個別施策等各般にわたり活動センターの役割が期待されていました。

(2) 平成23年度の動き

平成23年度予算に書庫、書籍購入費等の活動センター関係経費を初めて計上するとともに、設置スペースとして府中駅北第2庁舎7階に約20㎡の事務室を確保いたしました。また、開設に向け活動センターの管理運営規則案及び運営委員会に関する要綱案等を協議するため、「府中市環境保全活動センター開設準備に関する懇談会」を設置しました。

その後、センターの設置目的を、「環境保全に関する学習の機会並びに交流及び活動の場を提供し、市民等が行う環境保全活動を支援するもの。」と規則で定めるとともに、懇談会を引き継ぐ形でセンター運営のコアとして、府中市環境保全活動センター運営委員会を設置しました。また併せて、事業の実施に当たりご協力いただくサポーター登録制度を設けました。

こうした経過を踏み、平成23年12月1日に府中市環境保全活動センターを開設し、運営委員会を適宜開催する中で、センターの機能を6事項63項目にするとともに、リーフレットの作成、「かんきょう活動センターだより」を発刊した外、サポーターも23年度末現在、個人登録49名、団体登録は7団体となっております。

このように、センターシステムがおおむね整備されたことにより、次年度以降サポーターのご協力を得る中で、センターとして市民、事業者及び各種団体が行う環境保全活動に、積極的に支援、関与するとともに、センター独自の各種環境イベント等を企画、実施することにより、環境問題に対する普及啓発を図り、府中市環境基本計画にある理念を実践していくものです。

4 地球温暖化対策

地球温暖化とは、温室効果ガスの過度な蓄積より、地球の平均気温が長期的に上昇することです。

温室効果ガスが全くないと今の地球の気温は維持できませんが、過度に蓄積すると気温が上昇し過ぎ、地球の気候を大きく変化させ、自然生態系などに深刻な問題を与えます。

主な温室効果ガスとしてCO₂(二酸化炭素)があります。CO₂は有機物の分解・燃焼に伴い発生します。産業革命以降、世界的にエネルギー源として有機物である化石燃料の大量燃焼を続け、一方で森林伐採等でCO₂の吸収量は減少しています。その結果大気中に過度のCO₂が蓄積しました。また、ほかの温室効果ガスも私たちの生活に関するあらゆる活動に伴い発生しています。

地球の平均気温は、100年間で0.6度上昇しています。日本の平均気温は約1℃、都市化の著しい東京では約3℃も上昇しています。これはヒートアイランド現象であると考えられ、地球温暖化に影響しているといわれています。

国際的動向として、世界の国々における温室効果ガス排出量の法的拘束力がある数値目標を盛り込んだ京都議定書の批准が進んでいます。わが国においても、平成9年の京都会議以降、地球温暖化対策の推進に関する法律の制定や、地球温暖化対策に関する基本方針の決定などがあり、地方公共団体に温室効果ガス排出抑制のための実行計画の策定・公表が義務付けられました。

市では、府中市職員エコ・アクションプランを中心とした環境マネジメントシステムに基づいた環境負荷低減対策をより積極的に推進するため、ISOが定めたISO14001を平成14年に取得しました。平成23年2月には3回目の認証更新をして、環境負荷の低減に努めています。また、市の取組みを年一回「府中市エコレポート」として、公表しています。なお、市民のCO₂削減活動を支援するため、エコハウス設備設置補助金事業を実施しています。

※ ヒートアイランド現象

都市部の気温が郊外部に比べて高くなる現象をいいます。原因として、大量の熱エネルギーを発生させる都市においては、土が露出した地面が少ないため、水の気化による気温の低下が妨げられることがあげられます。また、等温線を描くと都心部を中心とした「熱(=ヒート)」による「島(=アイランド)」のように見えるため、こう呼ばれています。

※ 温室効果ガス

太陽から地球に降り注ぐ(波長の短い)光は素通りさせますが、地球から宇宙に逃げる(波長の長い)赤外線(熱線)は吸収するため、地球の温度を上昇させる働きのあるガスのことをいいます。

京都議定書及び地球温暖化対策の推進に関する法律では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄の6物質が指定されています。

※ ISO

「国際標準化機構(International Organization for Standardization)」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織(NGO)で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

※ ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組みを定めたシステムの規格です。PDCAサイクル(計画→実施→点検→見直し→計画のサイクル)を回すことで環境負荷低減行動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。これを認証取得した組織は、その環境に配慮した仕組みが国際規格に適合しているということの証明になります。日本では、JISQ14001として発効しています。

市職員の取り組み項目

府中市職員エコ・アクションプランは平成13年3月に策定され、市職員はこのプランに基づいて省エネルギー、省資源、ごみ減量などに努めています。平成23年3月には第3次府中市職員エコ・アクションプランを策定し、第2次に比べ日常取組項目を2つ追加、一部取組項目の修正を行い、より一層の環境負荷低減行動を実践していきます。

【日常取組項目】

- 1 レジ袋は受け取らない。
- 2 昼休み、就業前後及び残業時の不必要な照明は消灯する。
- 3 OA機器の未使用時は電源を切るか、省エネモードにする。
- 4 毎週水曜日はノーカーデーを実施し、水曜日以外にもできる限り車を使用しない。
- 5 車のアイドリングは止める。
- 6 車を使用する際には、エコドライブを実践する。
- 7 片面使用済紙の再利用や両面コピーを徹底し紙の使用量を削減する。
- 8 必要最低限の枚数しかプリントアウトしない。
- 9 使用済み封筒を再利用する。
- 10 ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。
- 11 階数の差が3階までは上りのエレベータに乗らない。
- 12 下りのエレベータには乗らない。
- 13 トイレの便座シートやウォシュレットの温度設定は色目盛りの下端を最大とし、夏はさらに低くする。
- 14 トイレのウォシュレットの電源は、土日等使用しない時は切る。
- 15 湯水を流しながら使用しない。
- 16 環境にやさしい商品を購入する。
- 17 物品購入は必要最低限にする。
- 18 必要以上の印刷、コピーはしない。
- 19 コピー機の未使用時は電源ボタンを押し省エネモードに設定する。
- 20 退庁時はコピー機の主電源を切る。
- 21 使い捨ての箸、スプーン等は使わない。
- 22 シュレッダーの未使用時は電源を切る。
- 23 会議室の冷暖房温度は、夏28℃以上、冬20℃以下に設定する。
- 24 クールビズ、ウォームビズなど快適に過ごせる服装を心がける。
- 25 会議室の冷暖房や照明は会議開始の10分前までは使用しない。
- 26 ブラインドやカーテン等の利用により照明・空調の効率化に努める。
- 27 ファイリングシステムの徹底により、必要以上の資料を印刷しない。
- 28 イベントを開催する際の電力は、グリーン電力を使用する。
- 29 各自の取組

市民の取り組み[環境家計簿]

日常生活において環境に負荷を与える行動や、環境に良い影響を与える行動を記録するために使用するもので、電気や水道使用量などの項目ごとに必要に応じて点数化し、一定期間の集計を行って、家計簿のように記録できることをめざしたもので、環境とのかかわりを再確認するための試みです。

府中市でも平成15年12月に環境家計簿を作成しました。各家庭でも、電気、ガス、水の使用量をチェックし、排出される二酸化炭素量を把握して、省エネ、省資源を心がけてもらうことが目的です。

(1) エコハウス設備設置助成事業

地球温暖化防止対策の一環として、個人住宅の環境に配慮した住宅設備設置費用の一部を助成することにより、自然エネルギーの有効活用の促進をするため、平成17年11月9日付で「府中市エコハウス設備設置補助金交付要綱」を施行し、実施しています。 (平成23年度実施概要)

対 象 設 備	補 助 率
太陽光発電システム	1kwあたり3万円で上限9万円
太陽熱高度利用システム	3万円
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	3万円
ガスエンジン給湯器	3万円
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム	5万円
雨水浸透施設	標準工事費の5割で上限10万円
雨水貯留槽	本体と架台の購入に要する費用の5割で上限2万5千円

※ 太陽光発電システム

太陽電池を用いて、太陽の光エネルギーを直接電気に変換して発電するシステムです。

※ 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)

都市ガス・LPガス・灯油等から水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させることにより発電するシステムです。同時に発電時に発生する排熱で給湯などに利用することができます。

コージェネレーションとは、1つのエネルギーから、熱や電気など複数のエネルギーを取り出し活用することをいいます。

※ ガスエンジン給湯器(エコウィル)

都市ガスやLPガスを燃料とするガスエンジンで発電し、その際に発生する排熱で給湯などに利用できる給湯器です。

これらは、火力発電所の稼働率を下げ、間接的にCO₂排出量を抑制する効果があります。また、電気の消費場所の近くで発電することになりますので、送電ロス(=送電線の電気抵抗等で失われる電力)も少なくなります。

※ 太陽熱高度利用システム

集熱器を用いて、太陽の熱を集めて利用するシステムです。

※ **二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)**

二酸化炭素を冷媒とし、空気の熱を利用した給湯器です。

これらは、従来の給湯器よりも熱エネルギーを得る際のCO₂発生を抑制する効果があります。

※ **雨水浸透施設**

雨水を地下に浸透させ、地下水のかん養を図る施設です。

※ **雨水貯留槽**

雨水を溜め、洗車や庭の水まきに使用できるようにするタンクです。水資源の有効利用が図れます。

年度別交付件数推移

対 象 設 備	17	18	19	20	21	22	23	計
住宅用太陽光発電システム	9	17	6	17	44	89	173	355
太陽熱高度利用システム	0	0	3	0	3	5	2	13
潜熱回収型給湯器	10	126	90	47	17	43		333
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	6	56	38	38	22	54	20	234
ガスエンジン給湯器	0	0	5	8	1	2	0	16
家庭用燃料電池 コージェネレーションシステム	0	0	0	0	0	1	33	34
雨水浸透施設	1	3	0	0	0	3	3	10
雨水貯留槽	2	0	2	0	3	4	15	26

(2) **カーボンオフセット**

ア **カーボンオフセットとは**

地球温暖化は、人間の諸活動の中で排出される二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスによって引き起こされ、人類の生存基盤や自然の生態系にも悪影響を及ぼすに至りました。そこで、温室効果ガスの排出量を減らすための国際的な取組みが行われ、平成9年(1997年)の京都議定書では、我が国に6%の削減の目標が定められました。今、国を挙げての低炭素社会の構築に向けた行動・実践が求められています。

このような中で、注目を集めているのが、「カーボンオフセット」です。カーボンとは「二酸化炭素」、オフセットは「埋め合わせる」という意味を表わします。まず、諸活動の中で排出をしている二酸化炭素などの温室効果ガスの量を認識(見える化)し、削減努力を行うことが必要です。そして、どうしても削減できない部分を、他の場所でのクリーンエネルギーの導入や二酸化炭素を吸収する森林整備など、排出削減、吸収プロジェクトに投資を行い、それによってもたらされる温室効果ガスの排出削減量や二酸化炭素吸収量で、削減しきれなかった部分を埋め合わせる、これがカーボンオフセットです。

イ **姉妹都市佐久穂町とのカーボンオフセット事業の実施状況**

平成23年7月26日に佐久穂町と締結した「府中市と佐久穂町との地球環境保全のための連携に関する協定」、「長野県の森林の里親促進事業森林整備協定」に基づき、平成27年度までの5年間、市の家庭ごみなどの市指定有料袋を焼却することで排出されるCO₂相当量の一部を、姉妹都市である長野県佐久穂町において森林整備を実施することで相殺させるカーボンオフセット事業を行います。

平成24年3月23日に長野県庁で「森林の里親促進事業」CO₂吸収量認証書の交付を受け、平成23年度の実施状況は、佐久穂町の町有林19.86ヘクタールの間伐で二酸化炭素吸収量は73.4トンとなりました。